



日中 湘南支部だより



2011. 2. 5

39号

発行：日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡先 藤沢市長後 794-4-23 ワタナベ サトシカた デンワ・ファックス (0466) 43-0495

2月 学習会 会場のつごうで第3木曜に。

センターには「ニエ・アルをしのぶ会」名で掲示されます。

17日(木) 会場 市民活動推進センター

時間 午後1時30分～4時

再学習：日本・中国の近代史

チューター 府川 清 さん

「中国修学旅行ハンドブック」で
本は当日買えます。 630円

ニエ・アル広場清掃

7日(月) 11時から。つごうのつく方は現地まで。

10年度 第8回 県連常任理事会

2月1日(火) 県サポートセンターで開かれます。

支部中国語教室

藤沢市学習文化センターで。

原則 2・4土曜日 午前 9:40～11:40

2月の学習日は、12日、26日。

参加希望者は ワタナベ(43-0495)まで。

つごうにより出席できないばあい、他の教室の
傍聴ができます。

下曽我 梅見の会 2月11日(金・祝)

JR御殿場線下曽我駅から徒歩15分の梅林で。

やぶさめの会場とは線路の反対側です。現地に道案内
の表示が出ます。

午前から舞台で参加革新平和団体がさまざまな訴え
をします。主催の実行委員会には日中西さがみ支部
も参加、毎年売店も出しています。

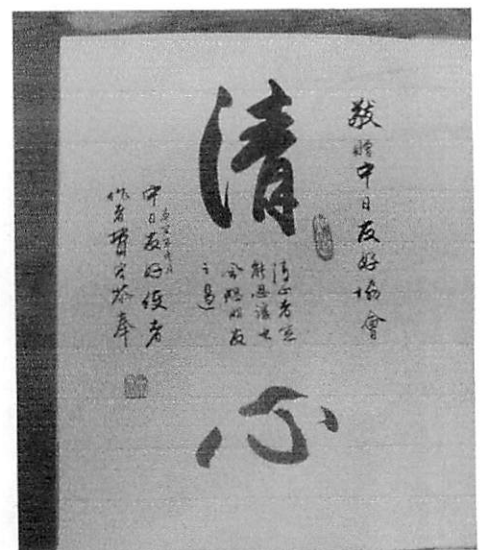
10年度 第6回 支部理事会

1月13日(木) 1時半から行なった。

2月 第7回理事会は 7日(月) 1時半から

重慶から書^アの作品集

重慶出身の会員の艾さんを通して重慶の書家
費宏さんの豪華本の作品集が寄贈されました。



「敬贈中日(日中)友好協会、今恕朋友之過」と。

卯年〔兔〕の雑事

日の中には足の3本ある鳥がおり、月の中では白い兔が餅をついている、と言うのは日本であって中国では、薬であって餅ではないということが、中国人と日本人の性格やら風尚やらの違いが伺えるような気がします。中国でも中秋の名月の日には、月餅というお菓子を食べるようですし、その月餅の包み紙には兔の画がかかれるのですから、月と餅の関係があるのだと思います。

日と鳥、月と兔という関係を知るだけでも昔の人の風流心、名詩、名画にも夢が広がり、情景が偲ばれると思いますが。月中白兔が薬をつくることを描いた詩では、李白の『酒を把りて月に問う』という詩は人の心を恍惚とさせるような有名な詩だと思います。兔も象形から出来た文字です。上のほうは兔の頭であり、右側の最後の「ㇿ」は尾のことで、この「ㇿ」は省けばマヌカレルになってしまいます。兔を基とした文字は他にはないと思います。中国では一般に『と』と呼んでいるようです。

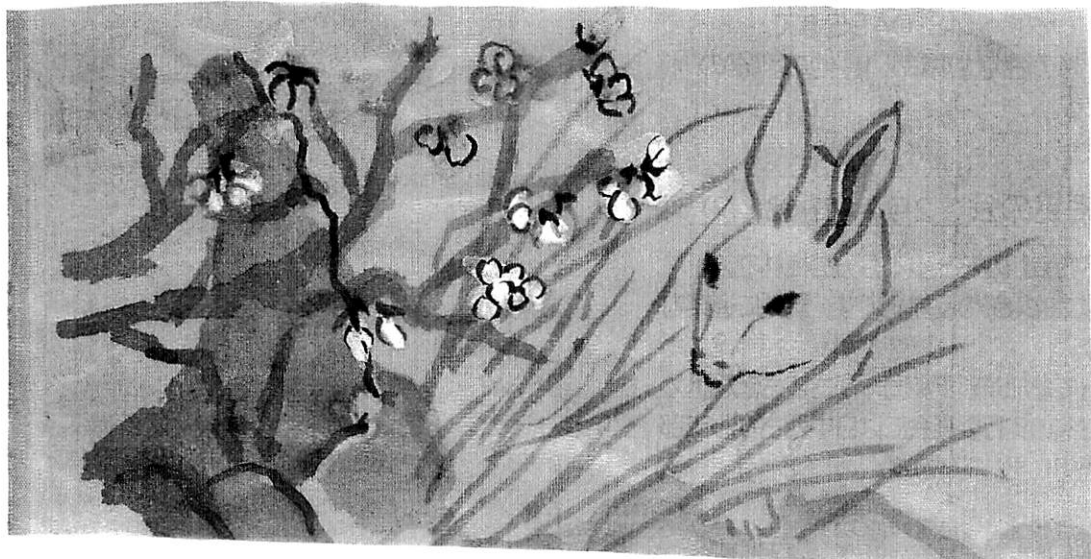


一面『中を補い気を益す』『熱毒を解き、大腸を利す』と言われ、季節季節に用いられ、脳にも肝にも特効があるといわれているぐらいなので、食料のほか薬用にされたともいわれているようです。楽々した生活をし、悠々と生を送っている〔小人が豊かに暮らしているのに対し、君子は大変な境遇におかれている。〕兔には角はなく、亀には毛がないことから世の中にありっこないものの喩え「兔角亀毛」。月日の流れ去ること『兔走鳥飛』『兔起烏沈』などあります。中国では白兔は極めて端兆とされています。

梁の孝王は兔園という園を造り、王の死後その園を耕地として耕し、園地の取立ての帳簿を通俗の言葉で書かれ、民間の村塾に用いる解りやすい本を兔園冊といわれ、謙辞とされているようです。月の中にある影の物語などなど私は現在も好きです。

（佐藤 久美子）

紅梅白兔





日中 湘南支部だより



2011. 3. 5

40号

発行：日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡先 藤沢市長後 794-4-23 ワタナベ サトシカた デンワ・ファックス (0466) 43-0495

3月 学習会 第4木曜日

センターには「ニエ・アルをしのぶ会」名で掲示されます。

24日(木) 午後1時30分～4時

会場 市民活動推進センター

2月にひきつづき：「中国修学旅行ハンドブック」

日本・中国の近代史再学習

2月17日には、みんなでテキストをよみ、意見、感想をだしあいました。

本は当日買えます。 630円

ニエ・アル広場清掃

7日(月) 11時から。つごうのつく方は現地まで。

支部中国語教室

藤沢市学習文化センターで。

原則 2・4土曜日 午前 9:40～11:40

3月の学習日は、12日、26日。

参加希望者は ワタナベ(43-0495)まで。

つごうにより出席できないばあい、他の教室の傍聴ができます。

下曽我 梅見の会は 中止

2月11日(金・祝) 予定されていた梅見の会実行委員会主催の会はあいにくの雨のため中止となりました。

会費をよろしく

12月にお願いをしました会費送金、まだの方よろしく。

湘南支部 拡大目標

会員9名、読者10名 提示される

「友好新聞」2月25日号にありますように、2月の県連常任理事会では、2万人の組織をめざす協会の方針にそって県連の目標を決めました。県連、湘南支部ともに年末年始わずかながら会員読者がへるという困難な状況が生まれていますが、この中で湘南支部は次期県連大会の6月までに会員9名、「友好新聞」読者10名、「季刊中国」読者3名を増やすことを目指すこととなりました。 とともにがんばりましょう。

10年度 第9回 県連常任理事会

3月1日(火) 県サポートセンターで開かれます。

10年度 第7回 支部理事会

2月7日(月) 1時半から行なった。

3月 第8回理事会は 7日(月) 1時半から

支部中国語教室から中国留学へ

支部中国語教室で学んできたK・Mさんは3月から中国大連の学校に入学、現地で3か月間さらにレベルアップをめざします。



他教室の人とともに留学激励会

やま

炭鉱の子守歌

わたしは 出かせぎ
海を渡り
隣の国から やつてきた
黒いダイヤを
掘っている
親方は 朝から晩まで
いばつてゐる

くらい坑道
お天とうさまは 照らさない
粉じんかぶつて 汗ながす
やまの坑口 出るときは
カラスのように まっ黒け
目玉ギョロギョロ 光つてゐる

ふかわ きよし

国に残した 妻と子は
父母を助けて 田んぼや畑
子どもは七歳 くりくり眼（まなこ）
「とうちゃん いつ帰るの！」
妻を困らす かわいい子

※ 童謡歌手・雨宮知子さんが二〇〇七年七月二十九日、第
二九回相模湖ダム殉職者合同（中国、朝鮮、日本人）
追悼会で歌った『七つの子』のトークを聞き作詩。

★ 年金者組合平塚支部の童謡サークル「ひまわり」で 童謡
『七つの子』のコーラスの一番と二番の間に伴奏つきで
朗読している。



日中 湘南支部だより



2011. 6. 5

43号

発行：日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡先 藤沢市長後 794-4-23 ワタナベ サトシカた デンワ・ファックス (0466) 43-0495

気持ちをあらたに前へ 協会全国大会 6月4日、5日 豊橋市で

各地から代議員・役員合わせて約230人が集まり、被災地3県の代表からの現状報告を含め議案について討議、各地の活動経験の交流をふまえ、新年度の方針を決めました。くわしくは「日中友好新聞」6月25日号。

6月 学習会 ふるって ご参加を

23日 (木) 午後1時半～4時

市民活動推進センターで

5月につづき「中国修学旅行ハンドブック」学習

時間があれば、4月の県連学習講演会の紹介。

10年度 第10回 支部理事会

5月9日 (月) 1時半から行なった。

6月 第11回理事会は、14日 (火) 午後2時～

中心議題は、支部総会、7月17日ニエ・アル祭。

ニエ・アル広場清掃

14日 (火) 午前11時から。つごうのつく方は現地まで。

記念講演会 6月16日 (木) 6時 開場

「曾祖父・梅屋庄吉と盟友孫文、辛亥革命を語る」

講演者 小坂文乃さん (日比谷松本楼常務)

主婦会館プラザエフ7階 (JR四ツ谷駅東口1分)

日中友好協会東京都連・新宿支部 共催

歴史散歩 孫文のいた街 横浜中華街 7月2日 (土)

→「県連ニュース183号」

第41回 神奈川県連大会

6月17日 (金) 午後1時～6時

神奈川労働プラザ (JR石川町駅8分) で。

7月7日 (木) 74年目の 盧溝橋事件

街頭宣伝 午後5時～6時 みなとみらい広場

講演会 6時半～ 「日中戦争と歴史教科書」

—使える中国語を楽しく—

支部中国語教室

6月の学習日 臨時に18日、25日。

健康問題や仕事の関係で受講者がへっています。

先生はモチロン学習者も仲間を待っています。少しでも興味のある方、どしどし見学・お問合わせを！

教室： 藤沢市学習文化センター 2階。

原則 2・4土曜日 午前 9:40～11:40

問合わせは ワタナベ(43-0495)まで。

つごうにより出席できないばあい、他の教室(海老名・座間)の傍聴ができます。

編集あとがき：

全国大会の関係で発行がおそくなりました。また、「日中友好新聞」6月15日号は休刊のため、この「たより」だけでお送りします。

ごらんのように、さまざまな催しが計画されています。ごつごうにあわせ、ご参加を。(つ)

われは海の子

花水川物語 119

ふかわきよし

どんなに朝が 暗くても

母のひと声 飛び起きて

親父に連れられ 夏の海

地引網ひく腰に 力が入る

獲れた魚に 歓声上げて

ピチピチ はねる

ウロコが はねる

一人前の 海の子気取り

生きてるシラス 小さなイカを

右手ですくい ペロリと食べた

アサリ ハマグリ とれた浜

東の海から 日が昇る

漁師の掛け声 元気に響く

いわしの大漁 お赤飯

おじいさんの大漁旗

親の世代は 手漕ぎの船で

江の島往復 楽しんだ

今は かけだしの

若いサーファー 波に乗る

むかし この国は

海に向うに 兵隊送り

命落とした若者 数知れず

運よく帰った 父・息子

戦でしてきた 酷いこと

誰にも話さず あの世に行った

海から授かった この生命

これから

こつちから あつちから

平和が行きかう 海がいい

★ここに書かれている内容は、私の体験したこと
です。前半は、子どもの頃の楽しかった地引網。

祖父、父、私、子、四世代のことを描き、最後に
孫たち、これからの世代への希望を描いています。

「われは海の子」の歌詞七番は軍国調。その批判
として終わりから2連目で、日中戦争のことを描
いた。叔父さんと従兄達は、戦死したり、命から
がら帰還しました。でも体験を何も話さず、鬼籍
に入った。身内にも話すことが出来なかった。地
獄です。二度とあつてはならない、思いを込めた。

お赤飯の裏には、祖父の悲しい話がある。大漁
祝いで食べたのが原因で、疲労もあり腸閉塞にな
った。戦時中は、医者が軍医として戦地に赴き、
医療体制が整っていなかったため、助からず、亡
くなった。戦争は悲しいことばかりです。

生命は、海から生まれ、私達の血潮も、原始の
海の成分と同じだそうです。湘南の海、世界の海
を平和の海にしたいものです。

※童謡「われは海の子」のコーラスに合せ、朗読
するためこの詩を作る。一番と二番の間に作者
が朗読。年金者組合の童謡サークルで練習中。



日中 湘南支部だより



2011. 8. 5

45号

発行：日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡先 藤沢市 長後 794-4-23 ワタナベ サトシかた デンワ・ファックス (0466) 43-0495

支部総会 7月24日に支部の9人と増田県連会長、並河県央支部長が出席。

例年とちがい、役員以外の出席が多く、議論が盛り上がりました。来年はニエ・アル誕生100年、また重慶の合唱団からの交流の希望の話もあり、ニエ・アルの音楽に焦点をあてて幅広い実行委員会による大型企画の準備をすることとなりました。

役員は、これまでの人が引き続き受け持つこととなりました。

総会について「支部だより」44号で予告したあと、ご案内・資料の送付がギリギリとなり、もうしわけありませんでした。

東京・千葉からも参加

2011年 ニエ・アル祭

7月17日日 中友好講演と映画のつどい

くわしくは「日中友好新聞」8/5号、「県連ニュース」

185号でご覧ください。

8月15日(月) 終戦記念日

11時半～12時半 街頭宣伝 みなとみらい広場

14時～ 横浜市民活動支援センターで

講演と映画のつどい 日中神奈川県連 主催

・講演 「日米軍事同盟の強化を憂う」

講師 伊藤敬一 (日中友好協会名誉会長)

・映画 「私は貝になりたい」 主演 フランキー堺

8月 ニエ・アル広場清掃は8日(月)、学習会は休み。

11年度 第1回 支部理事会

8月4日(木) 午後2時から

9月 第2回理事会は、12日(月) 午後1時半～

一使える中国語を楽しくー

支部中国語教室

8月の学習日 13日, 27日。

先生はモチロン学習者も仲間を待っています。少しでも興味のある方、どしどし見学・お問合わせを!

教室: 藤沢市学習文化センター 2階。

原則 2・4土曜日 午前 9:40～11:40

問合わせは ワタナベ(43-0495)まで。

つごうにより出席できないばあい、他の教室(海老名・座間)の傍聴ができます。

11年度 第2回 県連常任理事会

8月1日(月) 午後2時から。

中国・映画と踊りの集い に40人

7月23日(土) いちようコミュニティハウスで開かれた集い(いきいきニエ・ハオの会、中国帰国者・2,3世と交流する会共催)には、中国帰国者、「帰国者と交流する会」会員合わせておよそ40人が参加、帰国者の踊りの熱演、映画「孫文」を楽しみ、また、今後の活動についての方向について確認しました。

編集あとがき:

7月31日に第33回相模湖・ダム建設殉職者合同追悼会に参加しました。戦時中、いま私たちに数々の恵みを与えている相模湖の建設にあたり殉職された方々をしのびながら、歴史の真実から目をそらせた教科書の押し付けがあちこちで起こっていることに強いいきどおりを覚えます。(つ)

2010年ニエ・アル祭「日中友好のつどい」で話されたものです。「県連ニュース」で紹介される予定でしたが、「支部だより」で紹介することとなりました。(編集部)

二つの母国

私が二つの母国から貰った愛(1)

伊東さゆり

1. 私の父と母の出会い
2. 私の幼いころから生きてきた北京についての思い出
3. 日本に来た時の驚き
4. 私の中国語を教えるきっかけと私から見た日本人の資質

この場所を借りて皆様に私の二つの母国についてお話をさせていただきます。
私は、ここに最も好きな三国志演義の巻頭にある詩の一首を引用します。

長江はとうとうとして流れ 波しぶきは雄雄しく天を洗い流す
成功・失敗の是非は天が定める 青い山は依然として存在し
幾たびか夕日が赤く染め
白髪 of 獵師・狩人が長江を渡る 見慣れた秋の月 春の風
思いがけずめぐり合った一瓶の濁り酒に喜び
昔も今も全ての事を一笑に付し語らう

この一首は、過去の事を「煙の如く水の如し」の想いを抱いてその境地に入り、英雄はただ人々の取りざたする話題にすぎない。正に毛沢東がいつも用いる一言；“昔のことは煙のごとし” 煙が青空の中に消えると同じ、“淡水海に流れ込む” のたとえて過去の事は人々に忘れ去られてしまう……

自分の昔の断片的思い出の観点から描こう。

私はまだ小さいから、父は常にこのようなことを私に教えてくれました。一過去のことがばかりに焦点を当てても、利益も何も生み出さない。毎日希望を持って明るく、前向きに、勤勉につとめて生きていこう！物事には多面性がある、悪い面ばかり見ていると人間の目は濁ってしまう。常によい面、悪い面、総合的に物事を見る視野をもちなさい。

今も父の教育のお蔭で、私は過去のことにについて好いことばかりの思い出を残されました。幼いときの印象にはお金に困る以外、不自由なことは何もありません。

父から聴くと、一お爺ちゃんは「北満大学府」(現北京大学の前身)卒業で、四川省万県の県庁官員になった時、25年下の四川出身のお婆ちゃんと結婚した。軍閥混戦時代に罷免されて、北京へ戻った。生活困難のため、8歳の父は東北ハルビンにいる従兄弟の家に預かってもらった。当時のハルビンは旧ソ連革命後沢山の貴族たちが逃げてきた。父と従兄弟二人は、小学校のころから旧ソ連の伯爵の息子たちと毎日遊んでいて、自然にロシア語を覚えた。一

父は、ハルビン電機工業大学卒業後満鉄に就職しました。1年後抗日戦争に応援に来たソ連軍の元帥一同が瀋陽に到着、その時国民党軍部が随軍ロシア語通訳を募集していました。ロシア語堪能な父は毅然志願しました。面接試験などに合格し、そのまま国民党の軍部にはいり、中佐付き通訳になりました。聞いたところ、ソ連軍の大將軍の隨身通訳だったそうです。

(つづく)



日中 湘南支部だより



2011. 9. 5

46号

発行：日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡先 藤沢市長後 794-4-23 ワタナベ サトシカた デンワ・ファックス (0466) 43-0495

おわび：1月～4月分会費納入お願いのおくれについて

会費振込み局の変更と振込み用紙の準備のつごうで、納入のお願いがおくれています。もうしわけありません。準備できしだいお願いをお送りいたしますので、よろしくお願いいたします。

9月 学習会 久しぶりの学習会です。

9月29日 (木) 午後1時半～4時

市民活動推進センター で

「中国修学旅行ハンドブック」による学習

いろいろ話しあいましょう。

11年度 第2回 県連常任理事会

8月1日 (月) 午後2時から開き、8月15日の宣伝行動、講演と映画の集いの詳細を決定。常任理事の役割分担についての話し合い等を行った。

終戦記念日 街頭宣伝・講演と映画のつどい

8月15日 午後 みなとみらい広場・横浜市民活動支援センターで行なった。

街頭宣伝は県連常任理事が参加、「講演と映画の集い」には一般の方を含め、20人が参加しました。

9月 ニエ・アル広場清掃は12日 (月) 午前11時から。
ごつごうのつく方は現地まで。

11年度 第1回 支部理事会 8月4日 (木)

午後2時から開き、ニエ・アル誕生100年行事实行委員会の立ち上げなどについて話し合いました。

第2回理事会は、9月12日 (月) 午後1時半～ フラットで

11年度 第3回 県連常任理事会

9月5日 (月) 午後2時から、県民センターで開かれます。

柳条湖事件80年の行動 (9/15発行予定の「県連ニュース」で詳細が発表されます。) などについて話し合います。

一使える中国語を楽しくー

支部中国語教室

9月の学習日 10日, 24日。

先生はモチロン学習者も仲間を待っています。少しでも興味のある方、どしどし見学・お問合わせを！

教室： 藤沢市学習文化センター 2階。

原則 2・4土曜日 午前 9:40～11:40

問合わせは ワタナベ(43-0495)まで。

つごうにより出席できないばあい、他の教室(海老名・座間)の傍聴ができます。



45号でふれた追悼会での小学生の演奏のようす

編集あとがき：

編集に参加して思い切り新しいアイデアでうでをふるってくださる方はありませんか？ (ワ)

二つの母国

私が二つの母国から貰った愛（２）

伊東さゆり

日本人の母は中国長春生まれ、このことは母が亡くなった後、母の妹のおばさんから聞きました。母系のお爺ちゃんは明治時代の高等師範学校（現在の筑波大学）英文科卒業後、東北の仙台、秋田の学校で英語の教諭として、奉天へ行ったあと、瀋陽の日本人学校の校長先生にもなった。母は８人きょうだい、３姉妹はそれぞれ青山学院、武蔵野音大、母は東京音大予備科に通わされた。５人のお兄さんは、うち４人が旧帝国大学出身だった。母から聴くと青春時代に過ごした中国大連・瀋陽について良い思い出ばかりでした。

（第二）

母は時々奉天の瀋陽放送局で日本の歌を歌っていました。あの頃は日本侵略軍の闘志を高めるための放送局でしたので、当時李香蘭のことを見たこともあるそうです。また、国民党軍とソ連軍の軍官たちの宴会やパーティーなどで演唱しました。とにかく中国東北では上等の生活をしていて、中国人の下女を使っていました。今のわたしから見ると罪でしょうか。

日中の戦争が始まって、生活の全てが壊されて、ソ連軍の恐ろしい思い出だけがよみがえってきます。母にとっても辛いことだったでしょう。聴いた所、日本人家族が帰国の引き揚げ船に乗るために必死に争っていたそうです。そのとき、母が突然の重病にかかりました。当時は日本人に使う薬がなくて、危篤で救急救命の病床に寝込んで、死を待つ状態になったのです。父はソ連軍部の演唱会に出席したりしていたのがきっかけで、母の危篤を知り、軍部の知り合いに頼んで当時貴重なアスピリン注射剤を手に入れ、母の命を救いました。

母の病気は治ったけれども、最後の引き揚げ船も日本へ向かってしまい、また日本人大学生の婚約者の戦死通知も見て、泣き崩れるばかりで、映画のように母の異国の苦難生活が始まりました。

言葉が全く通じない命の恩人である父と結婚しても決して幸せではありませんでした。父母は瀋陽で結婚して、１９４７年、軍将の蔣精国たちと台湾へ逃げました。父は、その後北京に残された自分の母親のために大陸へ戻りたいとの決心で、台湾の友人と日本人の母に猛反対されていたにもかかわらず、思いを切りすて北京へ戻りました。最初農林省に就職しました。ソ連農業機械の資料翻訳を担当して、沢山の中国語の農業機械の本が父の手で翻訳されました。

しかし、国民党中佐通訳で、日本人の妻を連れ、台湾から帰国したことにスパイの疑いがかけられ、ある日、父が農林省勤務からの帰りにいきなり消えました。中国語がわからない母が姉と私を抱いて毎日毎日泣き崩れていました。１年半後、中国公安部政治犯罪拘留所からの通知がやっと来ました。間諜の疑いと歴史反革命罪で審査収容されていました。３年後釈放されて、農林省にも戻れず、独自で電気専門のソ連技術の翻訳本を出版して、どうにか暮らしを立てていました。

私が成長する第一歩の、幼稚園２年の教育から北京師範大学付属小学校の６年の教育を思い出すと、中国の古い伝統的の儒家・儒教の美德の教育で、人情深く、高潔な人格は人が生きる基準として賛美する価値があるとした教育です。その教えが、私の父の政治問題と日

本人の母のことに触れず、気の弱い私がいじめられたことはありませんでした。私だけでなく、きょうだい7人誰もいじめられたことはありません。愛は愛を呼ぶのかも知れません。いつまでも私を真っ直ぐに育ててくれた父母、幼稚園、学校の先生に感謝の気持ちがいっぱい、いっぱい溢れるくらいの感謝を捧げたいです。

私の幼少の頃で記憶しているのは、北京が私にもたらした灰暗色の思い出である。特に冬になると、空はいつもどんよりとして、太陽は午後4時には山の端に沈んだようになる。

四合院、軒の低い平屋、幅の狭い小さな胡同。めったに陽の届かぬ紙張りの窓、薄暗い灯り。ドアの隙間を吹き抜け、骨を刺すような冷たい北風が吹き込む、子供たちは皆厚い綿入れの服・ズボン・靴をまとっていた。

各種の政治運動や文化大革命により、華やかさは資産階級の思想と称され、それ故、至る所みな灰暗色の目立たない色だった。貧しい人々は高級な模様つきの布は買うことはできず、ただ単色の最も廉価な布があるだけ。加えて、私の母親は気の弱い日本人で、それ故、子供たちですら灰色・青色・黒色単色の衣服をまとった。

北京人はご飯を作ったり、暖を取ったり、総てに石炭のカマドを使う。冬になるとカマドの上は、一節一節つながれた灰黒色のブリキの煙突が据え付けられる。庭内は至る所みな濃い灰色の煙が眼に入る。

少年時代の北京、私の脳裏にとどまる唯一の目立った色は、思うに子供たちの凍りついた真っ赤な笑い顔と真っ赤なカマドの火の色だけである。大雪の降った時だけ灰暗色の北京は、瞬く間に雪白色の世界に変わってしまう。雪の降る早朝、ドアを開けるやいなや、子供たちは飛んだり跳ねたりしながら、真っ白、雪だ！雪が降ってきた！と叫ぶ。

大きな雪片は、あたかも驚鳥の毛のよう 白色の絹織物の切れ端のよう 牡丹の花弁のよう

ひらひらと 風に翻る… 天地を覆い隠し、真っ向から振ってくる… あの美しい雪片 タンポポの花弁のよう ひらひらと 次から次と舞い落ちる…

ひと粒、ひと粒 きらきらして透き通った雪粒 小さなお星様のよう きらきら光を放つ…

大人にとってみれば その膝を隠す程の大雪 子供にとっては 腰までつかる大雪
登校の道すがら 喜びの笑い声 歌声は止まず 寒さにとって代わるのは 子供たちの
口辺の熱気 真っ赤な笑い顔 火の如く熱いドキドキ跳びだ心

男の子たちは雪の中で 転がり 雪合戦 追いかけて

女の子たちは雪の中で 跳び 叫び 走り回り…

真っ白い雪 薄暗さを覆い隠し 汚いものを覆い隠し 子供たちの目の前の総ての陰鬱を
遮断し 幼い心に光明と無限の喜びをもたらす

私は大地を愛す。それは、私の少女時代の最も美しく最も汚れのない夢。忘れがたい北京の大雪。忘れがたい銀白色の雪中の私の少女時代。あの笑い声は、依然として私の耳もとに残り、あの汚れを知らない銀白色の世界は、今も依然として私の眼に浮かぶ。

勿論、文化大革命が中国全土を巻き込んだとき、父のような歴史反革命の過去がある人は真っ先に政治犯労働營に収容された。このようなとき、紅衛兵からの暴力が避けられたの

は、母が日本人身分で、外交部と日中友好協会の手助けがあり保護されて、当地の北京公安局の派出所から紅衛兵が家へ入らないよう命令があったためと聞きました。

私の第一の祖国は中国です。中国人の、人に対する友好の愛、大義凛然、度量と気概。私に大きな影響を及ぼしました。中国人の父が今近くの厚木霊園に静に眠っています。父は祖国で様々な政治的迫害を受けましたが、故土の北京に眠らない理由は、恨みではなく、自分の日本にいる子供と孫を見守りたいという一心からだと思います。はっきり言うと私は娘として中国に対する恨みは一つもありません。何故ならば、日本と中国の間の侵略戦争の歴史に残された真実は、当時の歴史の観点と角度で見なければならないと思います。現在の角度、現在の観点からのみ誰もが安易に歴史を語ろうとするのはおかしいし、不公平だと思います。

(第三)

1985年秋、夫と2歳の娘を連れて戦争被害者引揚者家族の身分で帰国しました。来る時に、日本語さえしゃべれない私は、トランク2個、現金10万円で横浜の旭区のアパートからの新生活が始まりました。

いちばん先に目にしたのは、日本の美しい緑と自然、穏やかな夕日、穏やかな人々、どこでも静かに、皆さんが小さい声でしゃべって、優しい笑顔、分からないことであれば、親切に教えて、どこでも同じような風景。あー、ここは幸せの楽園だ！天国のような平和、豊



かの国だ！

ゼロからのスタート、新鮮なものばかりで、決して苦に思いませんでした。第二の祖国で、言葉も不自由な私は、周囲にたくさんの素晴らしい日本人に恵まれて、娘も大学を卒業して、現在ビジネスマンとして、アジアの中心中国へ行っています。中国にさらに新たな息吹を吹き込もうと、中国市場に新しい価値や市場を開拓する先鋒になって、将来は中国市場で活躍したいと考えています。

私は1986年日本電気に勤め、会社の常務羽鳥先生は東京日中友好協会の常務理事でした。私は会社で中国語を教え始めました。95年娘の同級生の母親3名からスタートの中国語教室「北京の会」が始まり、中国語の普及にかかわってきました。常に多くの人々に中国語の学習を通して中国語の理解、中国民族の文化や歴史を理解させるべく、微力ながらも力を尽くしたいと希望しています。

(つづく)



日中 湘南支部だより



2011. 10. 15

47号

発行：日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡先 藤沢市 長後 794-4-23 ワタナベ サトシカた デンワ・ファックス (0466) 43-0495

5月～8月分（前号1月～4月はあやまり）会費納入ありがとうございます。

振込みのお願いに即座に対応していただきありがとうございます。

10月 学習会

10月27日（木）午後1時半～4時

市民活動推進センター で

「中国修学旅行ハンドブック」による学習

DVD「北京楽団福岡公演」

9月29日の久しぶりの学習会には4人参加、昨今の中国、日中関係、など自由にいろいろ意見交換をしました。

中国をよりよく理解するのにおススメの本

（長谷川さんから）廣済堂文庫「中国の言い分」

（ワタナベから）講談社・雑誌「セオリー 親日中国を旅する」

11年度 第3回、第4回県連常任理事会

第3回、9月5日（月）午後2時から開き、常任理事の役割分担・柳条湖事件80年の行動・2012年カレンダーの普及・組織拡大・9/25集会などについて決めた。

第4回、10月3日（月）午後2時から開き、国慶節祝賀行事・組織強化問題、などについてきめた。→「県連ニュース」

辛亥革命と中国建国62周年を祝う集い

10月15日（土） 17時半～19時半

横浜中華街・大珍楼で

申し込み7日まで、となっていました、まだ受け付けます。多数ご参加ください。

県連 045-663-0041 まで

11年度 第2回、第3回支部理事会

第2回、9月13日（火）、第3回は、10月6日（木）開いた。二エ・アル誕生100年記念音楽会実現を目指して、などについて決めた。

2011年カレンダー「中国悠久の旅」

申し込み受付中。 ことしも湘南支部で50部以上を普及することが目標です。ご自身と周りの方にもぜひ。

編集あとがき：

彼岸あと涼しくなり、たいへん過ごしやすくなりましたが、役員・会員の中に健康をそこなっている方が多くなっているようです。みなさまもおからだはくれぐれもお大事になさってください。（ワ）

10月 ニエ・アル広場清掃は17日（月）午前11時から。ごつごうのつく方は現地まで。

ー使える中国語を楽しくー

支部中国語教室

10月の学習日 15日、29日。

先生はモチロン学習者も仲間を待っています。少しでも興味のある方、としとし見学・お問い合わせを！

教室： 藤沢市学習文化センター 2階。

原則 2・4土曜日 午前 9：40～11：40

問い合わせは ワタナベ(43-0495)まで。

つごうにより出席できないばあい、他の教室(海老名・座間)の傍聴ができます。

二つの母国

私が二つの母国から貰った愛（3）

最初の頃は授業経験の不足から学生たちはいつも授業に不満をもち、学んでいくうちに来なくなってしまう。新旧学生間のレベル差が生じ、学習進度の内容調整にとっても苦慮した。しかしこれらの問題は中国文化に大きな関心を抱き、学ぶことを熱望・努力する人々が私に大きなエネルギーを与え、今日に至るまで中国語教師を継続できたのは全く皆さんの手助けがあったお陰です。

自分自身の弛まぬ努力・根気よく続けること・簡単ではないが頭を使って学習者にいかに伝えるか・そして正真正銘、内面から自分の仕事に夢中になってこそ、初めて他人に良い影響を与えることができると感じました。しかも、このような見解を深く理解するに至ったのは：よい教師は学生に唯 どのように教えるか！ではない、学生の心の中にひとつの火を灯す！！

「過去が煙のようでない」というならば、私が数年間かけ心血を注いで皆さんに講義した中国語に対して、煙や霧が消え去るのと同じように人々に忘れ去られることはないと思います。

[先天的憂・后天的乐](生まれながらの憂い 生まれた後の楽しみ) 小さくて取るに足りない気持ち、このような高尚な境地に到達する、このような純心な気持ちを心にとどめ、私は毎日毎日渴望の生活に尽きます。

昨年は、成長が飛躍的に進んでいる中国の国慶節であった。パソコン上から中国中央テレビ局の実況放送を見ることができた。私は中国人が口をそろえて「祖国万歳！」「人民万歳！」と叫ぶ団結の歓声を見た。ひたすら中国を愛してやまない光景や、ひたすら新しい中国を創造する情熱的な光景も目にした。感無量であった。既に大国といわれるが、ひとつ屋の家となり、強い国となって 初めて豊かな家 豊かな民となることができる。これは 私を感動させ、感激のあまり涙を流した。その時代を迎えつつある。この様な奮闘と輝かしい愛国精神があつて、世界の人々の称賛に値する。同時に 私達は世界の厳しく重苦しい経済と金融危機の同じ一個の地球上に立っている。しかし中国は不況の風に乗って国家経済を上昇発展させることができる、これは即ち人の努力であり、団結の証明に他ならない。私は中国を愛し、尚いっそう日本を愛する。今後は 私は皆様とご一緒に 更にしっかりと中国語を学び、日の当る道の上で、2つの社会の為に私のささやかな力を尽くしたい。2つの母国に対する恩情に報いるものとして。

2010.7.17 伊東 海桜

書く 於湘南支部 ニエ・アル祭



日中 湘南支部だより



2011. 11. 5

48号

発行：日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡さき 藤沢市長後 794-4-23 ワタナベ サトシかた デンワ・ファックス (0466) 43-0495

11月 学習会

11月24日 (木) 午後1時半～4時

市民活動推進センター で

原田敬一『坂の上の雲』と日本近現代史』の学習

しばらく、この学習に取り組めます。本は各自ご用意
ください。

10月の学習会にも4人参加、意見交換のあと、DVD「北京楽
団福岡公演」(約70分)を見ました。参加者からは楽団員15
人ひとりひとりのレベルの高さに感嘆の声があがりました。

市民活動推進センター 利用団体継続の登録が終わり
ました。

11月 ニエ・アル広場清掃は11日、(金)です。
午前11時から。 ごつごうのつく方は現地まで。

一使える中国語を楽しく一

支部中国語教室

11月の学習日 変更があります 19日、26日。

先生はモチロン学習者も仲間を待っています。少しでも
興味のある方、どしどし見学・お問合わせを！

教室： 藤沢市学習文化センター 2階。

原則 2・4土曜日 午前 9:40～11:40

問合わせは ワタナベ(43-0495)まで。

つごうにより出席できないばあい、他の教室(海老名・
座間)の傍聴ができます。

11年度 第4回県連常任理事会

10月3日(月) 午後2時から開き、国慶節祝賀行事・
組織強化問題。などについてきめた。→「県連ニュース」
第5回は、11月7日(月)に開かれます。

県連組織拡大推進委員会開かれる

10月21日(金)、常任理事会の決定にもとづいて県連組
織拡大委員会が開かれました。さまざまな理由から会員が減
少傾向にある現状をどう乗り越え、拡大強化に転じるか、文
化活動の取り組み、新しい支部をどうつくっていくか、など
真剣に話し合いました。

辛亥革命100周年と

中国建国62周年を祝う集い

10月15日(土) 横浜中華街・大珍楼で

横浜華僑総会謝成發新会長など9人の来賓を迎え
て開かれました。参加者それぞれにこの日の意義に
ついて述べあい、深く祝い、友好を進める気持ちを
新たにしました。

11年度 第4回支部理事会

第4回は、11月10日(木) 本鵠沼 ふらっと で。
ニエ・アル誕生100年記念音楽会の実現、組織強化、
2012年カレンダー「悠久の旅」の普及を中心に話し
合います。

2012年カレンダー「中国悠久の旅」

申し込み受付中。 ことしも湘南支部で50部以上を
普及することが目標です。ご自身と周りの方にもぜひ。

47号「2011年」は誤りです。

編集あとがき：大震災、大津波、原発事故から半年以上、
速く被災者の生活が改善されるよう望みます。(つ)

われは海の子

花水川物語 119

府川 きよし

どんなに朝が 暗くても
母のひと声 飛び起きて
親父に連れられ 夏の海

地引網ひく 力が入る
獲れた魚に 歓声上げて
ピチピチ はねる
ウロコが はねる

一人前の 海の子気取り
生きてるシラス
小さなイカを
ペロリと食べた
アサリ ハマグリ
とれた浜

東の海から 日が昇る
漁師の掛け声 元気に響く
いわしの大漁 お赤飯
おじいさんの大漁旗

親の世代は 手漕ぎの船で
江の島往復 楽しんだ
今は

若いサーファー
波に乗る

むかし 日の丸振って

海に向うに 兵隊送り

命落とした若者 数知れず

運よく帰った 父・息子

戦でしてきた 酷いこと

誰にも 話さず

あの世に行った

海から授かった この生命

こっちから

あっちから

平和が行きかう

海がいい

◆これは、私の体験したことです。子どもの頃の楽しかった地引網。祖父、父、私、子、四世代のことを描き、最後に、これからの世代が生きる世界は、平和であって欲しい願いを描いた。生命は、海から生まれ、私達の血潮も、原始の海の成分と同じです。湘南の海、世界の海を平和の海にしたいものです。

◆お赤飯の裏には、祖父の悲しい話がある。大漁祝いで食べたのが原因で、疲労もあり腸閉塞になった。戦時中は、医者が軍医として戦地に赴き、医療体制が整っていなかったため、助からず、亡くなった。戦争は悲しいことばかり。

◆「われは海の子」の歌詞七番は軍国調。その批判として終わりから2連目で、日中戦争のことを描いた。叔父、従兄弟は、戦死したり、命からがら帰還した。でも体験を何も話さず、鬼籍に入った。身内にも話すことが出来なかった地獄。二度とあつてはならない思いを込めた。

★童謡「われは海の子」のコーラスに合せ、朗読するためこの詩を作る。一番と二番の間に作者が朗読。年金者組合の童謡サークルで練習中。